

## 『六本木天文クラブ』通信 12 号

東北地方太平洋沖地震で被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

満月の夜にやってくる『六本木天文クラブ』通信が今月もやってまいりました。

3月20日満月の月の出は18:40頃。東京では計画停電が行われたり、そしてまだ電気が通らない場所がたくさんあると報道等で聞いています。明るい月が、暗い夜を照らし出すことを心よりお祈りします。

今月のイベント情報はお休みです。コラムは、春の星座・かに座について。寒い日が続いていますが、夜空は確実に暖かい春のそれへと変化しています。うつむきがちになる日々ですが、こんなときこそ灯りを少し早めに消して、窓から夜空を見上げてみてもいいかもしれませんね。

・ ... ・ ... ・ ... ・ ... ・ ...

### 【コラム】かに座の味わい

3月は霞がかりやすい季節。冬の凜と澄んだ空気から、柔らかい春の空気へと変わってきたことを実感する日も多いことでしょう。派手だった冬の星空は西の空に追いやられ、かわって東の空からは春の星座たちが顔を出します。しし座のレグルスやおとめ座のスピカのような明るい1等星は、東京の夜空でも簡単に見つけることができます。ぜひご自身の目で探してみてください。

今回ご紹介したいのは、有名だけどなかなか見つけられない春の星座、かに座です。明るい星が少なく、東京の夜空だと、ぎりぎり星が見えるか見えないか。肉眼でかに座を見つけるのは簡単ではないのですが、誕生星座の並びの通り、ふたご座としし座の間にあることを知っていれば、おおよその位置のあてはつくでしょう。

このかに座には、かに座 55 番星と呼ばれる、あまり耳慣れない星があります。でもこの星、天文業界ではとっても有名な星のひとつなのです。それもそのはず、この星の周りには、少なくとも 5 つの惑星がまわっていることがわかっているのです！

私たちの太陽系には、水金地火木土天海の 8 つの惑星がまわっています。同じように、夜空に見える多くの星たちの周りにも惑星が回っているらしいことが、最近わかってきました。1995 年に最初の太陽系外惑星が発見されて以来、続々と系外惑星は発見され続け、今では 500 個を超える系外惑星が見つかっています。

かに座の 55 番星系を有名にしているのは、惑星のひとつに水が液体で存在できるハビタブルゾーンにあることです。水が固体でも気体でもなく、液体で存在できることは、地球型の生命の存在には必須です。残念ながらその惑星自身は木星のようなガス惑星であるので地球と同じ...というわけにはいかないのですが、その惑星の周りにちょうど良いサイズの衛星が回っていれば、そこに生命の可能性があるかもしれないのです。もしかすると、そこには海があって、豊かな森があって、生命溢れる世界が広がって...。そんなことを考えながら夜空を眺めると、都会の夜空もまた違った風に見えるのでは？ぜひお試しあれ。

高梨 直紘

天文学普及プロジェクト「天プラ」代表 / 東京大学 特任助教

-----  
次号はまた、来月の満月の夜に。  
-----